

しんじょう よりあい

8月号



2018年7月25日

編集/発行 NPO法人しんじょうよりあい

〒919-0522 福井県坂井市坂井町上新庄51-35

TEL/FAX 0776-67-0544

<https://www.myoriai.com/>

介護認定された方も、そうでない方も一緒に参加しませんか。あなたはどんな老後の暮らしを望みますか？今までできたことができなくなった時、いつもと変わらない暮らしがどこかで違って来る。そんな時、私たちは「老い」を感じます。自分自身の「老い」を正しく見つめ、いかに楽しい暮らしを送ることができるか、一緒に考えませんか？できなくなったことを嘆く前に、今できることの喜びを大切にしましょう。きっと楽しい明日が見えてきますよ。

サンライフ中野子供会の来訪



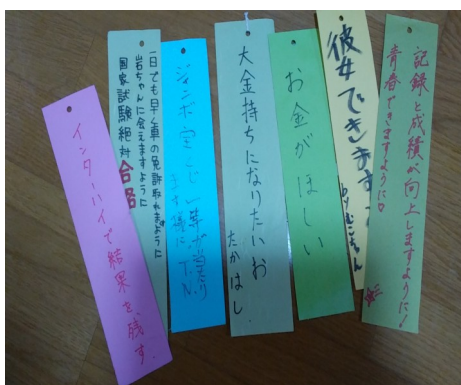
夏休みの課題である子供会新聞を作るために、大関よりあいの隣の地区サンライフ中野子供会の記者さんが来訪されました。

時ならぬかわいい訪問者の質問に、利用者の面々は大喜び、終始満面の笑顔でこたえていました。

初めて聞く珍しい歴史的な話も出て、利用者の方々にとってもこの界隈が繁盛したころの懐かしい思い出に浸ったひと時となりました。



笹に吊るされた短冊



JR丸岡駅に飾られ笹には乗降客の方々による約150枚の短冊が吊るされました。

坂井高校の生徒さんもたくさん書いてくださいました。ご協力ありがとうございます

福祉のまちづくり 大関地区のワークショップ

大関地区で「福祉のまちづくり」をテーマにしたワークショップが開かれました。「大関よりあい」もその一員として参加することができました。

まず大関地区の住民が大関地区を知ることで、どのような希望を持つことができるか、どのようなことができるかという風に住民サイドのユニークなワークショップでした。従来とはかなりイメージが異なり、期待が持てるものになったと思います。



いつも利用者の方々と共に
そして いつか利用者になる日のために

身近にいる素敵な高齢者

夏は同窓会やクラス会が開かれる季節です。

久々の逢瀬にワクワクするものですが、「老い」を比べられたくないから出席しないという方もいるのです。六十路も過ぎると年齢が判別しにくくなりますが、自分の周りにも素敵な歳の重ね方をしている人が幾人かいます。

九十三歳にして大作の絵を描き続けています。彼女は明るい茶に染めた髪を結いあげて空色のアイシャド



ウやレッドワイン色の口紅をさし、爪にはピンクのマニキュアを施して絵画教室の生徒を指導しています。彼女の教室はいつも繁盛しているのです。また九十に手の届く年齢にも関わらず、後ろ姿は青年のような方もいます。彼は弓道の師範で現在は毎日のように弓を弾いています。そしてもう一人、毎日鏡と友達で洋服をとっかえひっかえして楽しんでいるのは末娘の大姑（八十七歳）です。共通するのはひたすらに続けて、人に見られていると意識していることです。「老い」を阻む一番の方法は老いらくの恋だと聞いたことはありませんか？末の妹が言いました「ねんちゃん、それは無理だから、せめておしゃれをしなよ」昨年娘たちがすっかり我が家の断捨離をして衣服類も処分して、着替えは考える必要がなくなりました。それを伝えると「あ～そりゃだめだ、少しは身をやつすことにも頭を使わなきゃ、食べることと着ることは毎日の習慣でしょ、それに頭を使わないってことはないよ、「楽」を覚えたら「老い」の一途よ」

はて？自分はどうしたものか・・・



2018年9月の予定



日	月	火	水	木	金	土
						1
						大関
2	3	4	5	6	7	8
		新庄 デイ	いるかの 夕暮れ市		新庄 デイ	大関 デイ
9	10	11	12	13	14	15
		新庄 デイ	いるかde カレー	館サロン	新庄 デイ	大関 デイ
16	17	18	19	20	21	22
		新庄 デイ	夕暮市		新庄 デイ	大関 デイ
23/30	24	25	26	27	28	29
		新庄 デイ			新庄 デイ	大関デイ ワンコイン

ひとこと・・・

味わい深い一品です。

趣味で特殊な道具が必要になることがあります。この野書コンパスも探して探して鯖江の古道具市で見つけて購入しました。

勿論、新品でも売っていますが、こういう道具は特に私は素人ですから、一生使うものになります。



大量に機械で生産した「消耗品」は欲しくないのです。

ところで「この子！」は昭和初期のドイツ製野書コンパスです。 マイナスねじは手工業製品の証拠と言われますが、工夫を尽くした手工品です。

どうしてこういう加工をしたのか、どうして左右違うのか、作り手の心を想像していると味わい深いですねえ。（と）

